

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 167	地図番号 155	<del>A 普通注</del>	ページ
項目名 ぎぬ糸		[B 除いた共通語]	( / )
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	④ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
2700.48	カナ〈希〉	キナイト
2763.89	kinunana ?	
3619.08	kinweto èは非常に狭いe	
3699.55	シカ <sup>イト</sup> (カ→ <sup>マ</sup> 。ト→ <sup>ト</sup> 。do. èは <sup>エ</sup> の シカ <sup>エト</sup> 中間音 <sup>④</sup> )	
3741.16	k <sub>3</sub> inüëto èは非常に狭いe	
4609.68	ſina (シカはヌカ糸にする場合の一本一本について 主としていう。)	kinwedo
4619.23	ſina〈古〉	k <sub>3</sub> i:do
4637.68	kinwedo はいぬSw <sub>3</sub> aedoと答えたがそれは 生糸であった。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 167	地図番号 155	A 普通記	ページ
項目名 きね糸		[B 除いた共通語]	(2)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊦ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4638.43	kinueto (はじめ su <sup>η</sup> a と答えたが、169 でこれは織糸と分かり、この称に訂正した。)	
4666.99	edo <女は kinueto と言うが、男だから単に edo と言う。> (だから kinueto の語を知っているが、使用語彙であるかどうか不明。)	
4667.76	Su <sup>η</sup> a } <しつけ糸として使う> と説明した。 Su <sup>η</sup> a edo }	
4676.67	su <sup>η</sup> a edo <古> <若い頃これを買うことを家人に命じられたことがあるので知っている。今は使わない。>	
4710.55	kinu <sup>l</sup> do (本来なら kinu <sup>l</sup> do となるころ昔の momedō につられて d が鼻音化したものと思う。)	
4713.45	kiito (製品になっている絹糸のことを言う。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は敢密にする。

質問番号 167	地図番号 155	A 普通注記	ページ
項目名 きね糸		[B 除いた共通語]	(3)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊦ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5565.12	〈イト〉	キヌイト
5613.48	kinuito ki:toとはじめ答えた。	
5614.68	kinueto はじめki:toと答えて訂正した。	
5696.13	キヌイト 〈昔繭を煮てのはして作った。糸をシケといった。 えはキヌイトとはちがう〉	
6287.42	kinito 〈古〉	kinuito
6349.23	〈?〉キヌイト	キイト
6374.64	キヌイト 〈よってある糸〉 ネバイト 〈よってない糊付けの糸〉	
6386.66	nebaito 〈糺さないもの〉	kinuito

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 167	地図番号 155	A 普通注	ページ
項目名 きぬ糸		[B 除いた共通語]	(4)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6403.60	シガイト <古>	キノイト
6406.92	キイト (希)	キヌイト
6416.31	fikeito <自分は言わないか言う人がある>	kimu-ito
6422.16	キイト <細い機用のもの>	キヌイト
6436.60	キヌイト <よったもので太い> スカ スガイト } <細い>	
6440.67	スカ" <くりたての糸> キヌイト <使う時の称>	
6484.78	キンノイト キヌノイトではない。 キヌソ <糸の縫い糸。>	
6494.08	キヌイト <織物にするもの>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 167	地図番号 155	A 普通注	ページ
項目名 きぬ糸		[B 除いた共通語]	(5)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	④ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6517.65	キイトくねらないもの	
	キヌイトくねったもの	
6536.39	itoく特にkinuitoというコトはない。ただし。 モンの名のはmomentoという。	
6539.12	kinuito ([-nu-i]は精密には[-ny=-]である)	
6554.45	kiitoく方言ではkiitoだ	kinuito
6559.22	sodaiく古	kinuito
6563.58	kinnuitoく一世代前のコトは	kinuito
6571.15	NR(使ったコトがないから知らぬ。)(此土地ではキヌイトと 言うはず)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 167	地図番号 155	A 普通語	ページ
項目名 まぬ糸		[B 除いた共通語]	(6)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	④ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6586.27	magai <漁師> kinuito <女>	
6657.96	N.R <kāiko no ito?>	
6697.49	suraito <古. なお sura とは蚕のニト>	kinuito
6697.59	suraito <古>	kinuito
6698.20	suraito <古>	kinuito
7218.26	kinuito kinuitoをませた織物を「itoori」と。	
7239.85	キンイト <物>	キンイト
7249.35	マイト <古> カライト <古>	キンイト

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 167	地図番号 155	A 普通注	ページ
項目名 壬ね系		[B 除いた共通語]	(7)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	㊤ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7312.11	kinuito (練った糸) kiito (希. 生のままの糸)	
7323.17	neba ito (旧)	
7324.24	neba ito (=ニでは neba であった)	
7331.27	kinuito < neba ito とは言わない >	
7332.97	ki ito (少) kinuito (多)	
7342.12	meba ito ㊤	
7362.42	(?) ツムギイト < 少 = 3 の糸がある糸。おるいキヌイト (旧) >	キヌイト
7365.25	neba ito < 特 <sup>に絹</sup> の編 <sup>み</sup> い糸。 >	kinuito

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は敢密にする。

質問番号 167	地図番号 155	A 普通注記	ページ
項目名 子ぬ糸		[B 除いた共通語]	(8)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	④ 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7374.15	<?>キト 〔(キント)〕	
7375.96	kinito <古>	kinuito
7385.38	(kaikonito)	ki:to
7392.45	<(キイト)>	
7394.85	kinito <昔>	kinuito
7452.54	ki:to (?)	
7514.21	ku <sup>u</sup> ito <新>〔新〕	ki:to
8301.19	キント <希>	キイト
8303.70	キト (生糸ではない)	
8304.66	kaiko no ito <古>	kinuito



- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。  
▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 167	地図番号 155	<del>A 普通語</del>	ページ
項目名 きぬ糸		[B 除いた共通語]	(9)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8324.83	kegonito (飼い子或は蚕の転化 kego)	
0256.76	itsu <古>	kinuito
0256.89	itsu <古>	
0265.96	?itsu: (特別名を言わぬらしい)	
0276.50	itsu <itsuとたけいて特に名を知らない>	
1232.75	?kinuzittsu:	
1232.29	kinu it'u: (?)	
1241.96	itt'u <絹のことも itt'u とい>	
1242.72	?itsu ? <昔はなかつた>	
1251.27	kaigonu?i:itsu <戦後はない>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は敬密にする。

質問番号 167	地図番号 155	普通口記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (10)
項目名 きぬ糸			

地点番号	① 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1260.78	kinu zi:tsu: <zi:tsu は糸絹>	
1261.80	kinuzitu <ご<新>	
1270.26	? kinu i: su:	
2075.22	itsu <糸絹の着物はitsu kin>	
2076.97	kinuitu <新>	
2140.49	? kinuitu <新>	
2140.96	kinuitu <新>	
2141.71	? kinuitu (標準語的な言い方)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 167	地図番号 155	A 普通注記	ページ
項目名 王ぬ糸		(B) 除いた共通語	( / )
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1781.95	コマイト	キヌイト
4643.47	kinugana <こいう人もある。>	kinuito
4676.67	kinuēdo (新)	sugaēdo <古 若い頃これを買うと とき家人に命じられたことがあ るので知っている。今は使わない。>
5614.24	kiito (はじめに答えた。)	kinueto
5772.00	oknādo	kfudo
6642.58	kinuito 新	sun <sup>a</sup> suna <sup>a</sup> ito
7323.17	kinuito (新)	nepaito (旧)
7342.12	kinuito (新)	mebaito (古)

